

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社TORICO 上場取引所 東  
コード番号 7138 URL https://www.torico-corp.com/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 拓郎  
問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員管理部長 (氏名) 中道 智宏 (TEL) 03-6261-4346  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,901	△21.9	△154	—	△158	—	△207	—
2023年3月期第3四半期	3,713	△9.2	92	△47.3	90	△50.4	63	△47.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △205百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 63百万円(△47.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△170.46	—
2023年3月期第3四半期	51.17	46.90

(注)1. 2024年3月期第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期利益剰余金については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,001	960	47.9
2023年3月期	2,247	1,164	51.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 958百万円 2023年3月期 1,162百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,781	△24.4	△212	—	△215	—	△265	—	△217.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	1,258,100株	2023年3月期	1,242,820株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	33,804株	2023年3月期	23,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	1,217,434株	2023年3月期3Q	1,233,506株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会資料の入手方法について)

四半期決算説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイトのIR情報 (<https://www.torico-corp.com/ir/>) で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけの第5類への引き下げと共に経済社会活動への制約がほぼ解消された事で、国内外での人流も回復し、旅行及び外食に対する個人消費が緩やかに持ち直す等、社会経済活動の正常化が進みました。一方で、引き続き緊迫した世界情勢に加え、世界的な資源価格の高騰や急激な円安進行による物価の高騰により、依然として国内外における経済の先行きは不透明な状況となっております。

当第3四半期連結累計期間の当社グループ主力のECサービスの市場環境においては、過去数年に発生していた巣ごもり需要でプラス成長を続けておりましたが、新型コロナウイルス感染症の第5類へ移行し巣ごもり需要が終息したことで、公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所が発刊している出版指標2024年冬号によると、当第3四半期連結累計期間にあたる2023年4月～2023年12月の書籍雑誌推定販売金額は前年同期比5.7%減となっており、出版流通業界全体において売上高が前年同期比を下回る状況となっております

また、当社グループが属する紙コミックス市場についても、同出版指標2024年冬号によると、当第3四半期連結累計期間の前年同月比の実売金額が9か月連続でマイナス（4月は前年同期比で16%減、5月同11%減、6月同12%減、7月同1%減、8月同15%減、9月同5%減、10月同8%減、11月同11%減、12月同13%減）の状況となっております。特に当社グループは、漫画を原作とするアニメ・映画等のメディア化によるヒット作品の有無の影響を受けやすい漫画の全巻売りサービスを主力サービスとして展開している為、当第3四半期連結累計期間においては、大型ヒット作品に乏しい状況と重なった事で、市場全体の減速以上に当社グループの売上減収幅が拡大する要因となったと捉えております。

主力ECサービスの主要なKPIについては、当第3四半期連結累計期間（4月～12月）を通して、同サービスのECサイトに訪れるユーザー数は12.1百万人（前年同期間9.9百万人、前年同期比21.4%増）となり、サービスの認知向上については改善が図れております。一方で、ECサービスの購買率については0.81%（前年同期間1.20%、前年同期比0.4pt減）と前年同期と比較して低下が続いており、前年同期に売上を牽引した「SLAM DUNK」の映画公開とクリスマス商戦が重なり大きく売上増加した前期に比べ受注件数を伸ばすことが出来ず、当第3四半期連結累計期間における売上減収となったと考えております。また、顧客単価は8,263円（前年同期間9,892円、前年同期比16.5%減）と漫画原作作品の早期メディア化（コミックの発行巻数が少ない段階でのメディア化）の傾向が継続されており、この単価の下落も売上減収の一因となっております。このような背景の結果、当第3四半期連結累計期間における同サービスの売上高は、前年同期比で26.2%減となりました。

一方で、当社グループが今後の成長サービスとして位置付けるイベントサービスについては、当第3四半期連結累計期間におきまして、POP UP SHOPやコラボカフェなど自社運営店舗を最大限活用した東名阪での催事巡回が複数IPで継続的に開催し集客拡大が行われるとともに、IP商品化と関連グッズの製造販売の推進を行いました。また海外市場に向けては前期に進出した台湾市場に加え、シンガポール市場への参入を行い、アジアを中心に日本マンガ・アニメIPの商品流通を現地企業からの仕入と現地販路の拡大に向け準備を進めております。このような取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間における同サービスの売上高は、前年同期比で29.1%増と成長を継続しました。

このような状況下において当第3四半期連結期間（10月～12月）は、当社グループの主力ECサービスである漫画全巻売りサービスの売上減少に少しでも歯止めをかけるべく、年末商戦需要に対する販売促進策として、売上比率の大きい主要ECサイトを中心に継続的なポイント還元率施策や、ECモール内の競合他社から購入シェア獲得を目指し、送料無料ラインの引下げ、ポイント還元率の増加、販売需要の高いタイトルへの当社限定特典施策の拡大を行い、対前月比では60%程度の売上増加を達成しましたが、全体の売上進捗はコロナ渦を含む過去2期とは異なり、当初の見込みより低い水準で推移しており、10月から12月までのコミック原作テレビアニメの新作放映下でも従来の水準に変化を与えるほどの作品は生まれず、新たな成長サービスの柱とすべくイベントサービスの国内外での拡大に努めて参りましたが、当第3四半期連結累計期間が経過した現時点において、上記に記載したECサービスの減速状況により、前年対比での減収傾向に歯止めをかける事が出来ていない状況となっております。

また利益面につきましても、上記の減速要因を背景としたECサービス売上高の減収による売上総利益の大幅な低下が最大の要因となりますが、併せて今期に実行している本社オフィス及び倉庫の移転による地代家賃、水道光熱費等のランニングコストの増加及び、また中期計画の骨子として推し進めるイベントサービスの拡大に向けた人員の拡大や、海外出店、グッズ製造設備増強の為の設備投資の増加等、成長の為の先行投資を行った結果、営業損益、経常損益において損失が発生致しました。また、倉庫移転に関連する引越費用等の特別損失の増加や、課税所得の赤字見込みに伴う税効果の取り崩しの実施により、当期純損益においても損失が発生致しました。

上記の施策の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,901,877千円（前年同期比21.9%減）、営業損失は154,461千円（前年同四半期は92,157千円の営業利益）、経常損失は158,021千円（前年同四半期は90,439千円の経常利益）、四半期純損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失は207,523千円（前年同四半期は63,114千円の四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

注. 当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の業績の状況については記載しておりません。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産の部）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は2,001,019千円（前連結会計年度末比246,369千円減）となりました。総資産の内訳は、流動資産が1,733,852千円（前連結会計年度末比340,676千円減）、固定資産が267,167千円（前連結会計年度末比94,306千円増）であります。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、流動資産は、取引の減少及び本社・倉庫移転費用の支出等に伴い現金及び預金が441,703千円減少したこと、一方で12月の年商戦期の売上高により売掛金が53,134千円増加及び前払費用が23,840千円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は、本社・倉庫移転により差入保証金が47,764千円、工具器具備品が25,979千円、建物が14,272千円がそれぞれ増加したこと、及び長期前払費用が22,012千円増加したこと、一方で繰延税金資産が38,973千円減少したこと等によるものであります。

### （負債の部）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,040,288千円（前連結会計年度末比42,165千円減）となりました。負債の内訳は、流動負債が698,762千円（前連結会計年度末比33,194千円増）、固定負債は341,526千円（前連結会計年度末比75,359千円減）であります。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、流動負債は、未払金が36,320千円増加したこと、及び12月の年商戦期のため仕入を増加したことにより買掛金が26,684千円増加したこと、一方で納税等の実施により未払消費税等が29,402千円減少したことによるものであります。

また固定負債は、借入金の返済により長期借入金が80,310千円減少したことによるものであります。

### （純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は960,731千円（前連結会計年度末比204,204千円減）となりました。主な変動要因は、新株予約権（ストック・オプション）の行使により、資本金が5,684千円増加及び資本剰余金が8,883千円増加したこと、一方で親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が207,523千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年2月13日)公表いたしました「2024年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当該業績予想につきましては、公表時点において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。今後、業績予想に変更があった場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,062,248	620,544
売掛金	322,080	375,215
商品	635,644	637,732
その他	58,119	104,516
貸倒引当金	△3,564	△4,157
流動資産合計	2,074,529	1,733,852
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	35,710	49,983
その他（純額）	22,737	59,265
有形固定資産合計	58,447	109,249
無形固定資産		
その他	41,210	53,911
無形固定資産合計	41,210	53,911
投資その他の資産		
繰延税金資産	38,973	—
その他	34,228	104,006
投資その他の資産合計	73,201	104,006
固定資産合計	172,860	267,167
資産合計	2,247,389	2,001,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	312,053	338,737
1年内返済予定の長期借入金	106,497	107,080
未払金	124,251	160,571
契約負債	44,676	42,507
未払法人税等	6,303	157
その他	71,786	49,707
流動負債合計	665,567	698,762
固定負債		
長期借入金	416,106	335,796
資産除去債務	779	791
その他	—	4,939
固定負債合計	416,885	341,526
負債合計	1,082,453	1,040,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	183,217	188,901
資本剰余金	513,909	522,792
利益剰余金	491,682	284,159
自己株式	△26,854	△40,577
株主資本合計	1,161,954	955,276
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	735	3,208
その他の包括利益累計額合計	735	3,208
新株予約権	2,246	2,246
純資産合計	1,164,935	960,731
負債純資産合計	2,247,389	2,001,019

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,713,965	2,901,877
売上原価	2,422,315	1,851,786
売上総利益	1,291,649	1,050,090
販売費及び一般管理費	1,199,492	1,204,551
営業利益又は営業損失(△)	92,157	△154,461
営業外収益		
受取利息	6	37
受取配当金	1	1
コイン失効益	2,560	2,390
その他	980	809
営業外収益合計	3,548	3,238
営業外費用		
支払利息	3,710	5,399
その他	1,555	1,399
営業外費用合計	5,265	6,799
経常利益又は経常損失(△)	90,439	△158,021
特別利益		
固定資産売却益	—	218
特別利益合計	—	218
特別損失		
固定資産除却損	4	3,101
事務所移転費用	—	5,766
特別損失合計	4	8,867
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	90,435	△166,670
法人税、住民税及び事業税	30,907	1,878
法人税等調整額	△3,587	38,973
法人税等合計	27,320	40,852
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,114	△207,523
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,114	△207,523

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,114	△207,523
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5	2,473
その他の包括利益合計	5	2,473
四半期包括利益	63,120	△205,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,120	△205,049

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。